

働く人の話を聞こう

「働くこと」について、現場で働く方から実際の話聞くこの講座。今回の働く人は、元新聞記者、数学・政治経済講師の異色の経歴を持つ 社会保険労務士の「能登 将史」さん。尼崎 JR 脱線事故の取材を通し、働くことの尊さや仕事を支えている会社の重要性を知ったとのこと。これまでの様々な経験をお聞きしましょう！

能登 将史 (のと まさし) さんプロフィール

宝塚市生まれ・在住。

新聞記者として、社会人スタート。尼崎JR脱線事故や日々の取材の中で、会社と社員の関係、困難との向き合い方、人の働き方を考えるようになる。数学、政治経済、就職支援などの講師歴14年。指導の中で、世代間の価値観の違い、狭い範囲で物事を判断してしまっている子どもたちや親御さまの現状を痛感。現在、社会保険労務士として、事業の継承・社員の職場定着、労働者のメンタルヘルス問題に取り組む。



■対象者：15～39歳までの無業の方

■場 所：宝塚市男女共同参画センター・エル(ソリオ2・4階)

■日 程：2月23日(木) 13:30 ~ 15:30

■定 員：15名(先着順)

■申し込み方法：宝塚地域若者サポートステーションまで電話にてお申込みください。

受講はサポステへの
登録が必要です。
まずはお電話ください

お申込み・お問い合わせ

宝塚地域若者サポートステーション

(運営：認定NPO法人 宝塚NPOセンター)

開所時間 (火～土) 9:00～18:00

休館日 日・月・祝・年末年始

☎0797-69-6305

〒665-0845 宝塚市栄町1-1-9 アールグラン宝塚2F

